

《履修上の留意事項》面接授業のみ実施

《担当者名》志渡 晃一（看）

【概 要】

公衆衛生の原義は「すべての人の生命と生活を守る」ことである。この科目では、「生活の中で健康をどう考えたらよいのか」について広範囲に探求する。

【学習目標】

本講義では、公衆衛生の視点を獲得し、視野を広めることを目的として、以下の項目について理解を深める。

①公衆衛生の目的・課題 ②公衆衛生の実践活動 ③公衆衛生を支える科学、技術

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	ガイダンス 公衆衛生概論Ⅰ	講師の自己紹介 講義の進め方 世界の健康課題（平均寿命）	志渡 晃一
2	公衆衛生概論Ⅱ	世界の健康課題 環境衛生活動 保健医療福祉による国際貢献（チェルノブイリ）	志渡 晃一
3	公衆衛生概論Ⅲ	平和、公衆衛生と戦争（アウシュビッツ）	志渡 晃一
4	公衆衛生概論Ⅳ	ユニセフ活動 疾病予防活動（きれいな水） SDG s	志渡 晃一
5	予防医学Ⅰ	感染症	志渡 晃一
6	予防医学Ⅱ	生活習慣病	志渡 晃一
7	予防医学Ⅲ	ライフスタイルと健康 笑いの効用	志渡 晃一
8	疫学Ⅰ	疫学概論	志渡 晃一
9	疫学Ⅱ	記述疫学と分析疫学	志渡 晃一
10	健康科学Ⅰ	精神保健	志渡 晃一
11	健康科学Ⅱ	環境衛生	志渡 晃一
12	社会医学Ⅰ	医療訴訟の現状と課題	志渡 晃一 安彦 裕介（特別講師）
13	社会医学Ⅱ	健康の社会的決定要因	志渡 晃一
14	社会医学Ⅱ	ソーシャルキャピタル	志渡 晃一
15	総括	これまでの講義を基に、公衆衛生の視点について総括	志渡 晃一

【評価方法】

聴講態度20%、筆記試験80%

【備 考】

教科書：教科書：シンプル衛生公衆衛生学2020 南江堂

参考書：参考書：国民衛生の動向2020年版 厚生統計協会

【学習の準備】

教科書、参考書に一通り目を通して、公衆衛生学の守備範囲を確認すること。その上で、知識の習得よりむしろ概念の理解に向けて60分程度予習し準備すること。受講後は自分なりに理解できるまで復習すること。（60分程度）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

社会の変化、科学技術の進展に合わせて、教養と専門性を維持向上させる能力を修得するという心理科学部のディプロマポリシーに適合している。